別紙1 事務事業評価(中間評価)シート【平成27年度】

主管課名(担当名)		水産振興課(水産振興担当)					
事務事業名		ねむろ水産物普及推進事業			事業番号	12493	
重点プロジェクト	■該当	□非該当	評価時期	■中間 □事後	事務区分	■自治 □法定受託	

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-5 安全・安心な水産物の供給
	施策目標	良質かつ安全・安心な水産物を全国へ安定供給するまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人 や団体など				
v.1 sar	対象者の今後の予想	增加			
活動内容	①根室産水産物・水産加工品の普及宣伝 ②根室産水産物・水産加工品の販路拡大				
(事業の概要や具体的な内 容、方法など)	③消費者ニーズの把握 ④魚食の普及 ⑤その他の目的達成のため必要な事業				
意 図 (どの様な成果を得ようとして いるのか)	関係機関及び団体が連携し、全国でも有数の水揚量を誇る根室の新鮮で良質な水産物を、広<普 及宣伝することにより、販路拡大、地域経済の活性化に繋げる。				

3 事務事業の現状

活動指標名		計画値		実績値				目標値	目標値
		(H27)	H27	H28	H29	H30	H31	(H32)	(H37)
1	販売・PR事業参加者数(他団体)	56人	73人					70人	80人
2	2								
3									
4									
事業費(=下記内訳計)			H27	予算	H27決算		H28予算		
					10,500	10,500		10,500	
国道支出金				3,500	3,500		10,500		
内地方債									
訳 その他									
	一般財源				7,000	7,000			
人員(人工)			1.00		1.00				
職員人件費 (=人員(人工)×8,081千円)			8,081 8,081		8,081				
総事業費 (=事業費+職員人件費)				18,581		18,581		18,581	
単位コスト実績値 1 (=総事業費÷成果実績値)				331		254			
単位コスト実績値 2 (=総事業費÷成果実績値)									

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	□検討中 □見直し・改善済み □見直しをしたが改善に至っていない ■検討していない				
見直しの内容など					
今後の動向・市民ニーズなど	北海道や首都圏等で、新鮮で良質な根室産水産物を広く宣伝することで、消費者ニーズが高まり、 地域経済効果へ結びつくものであるので、市民ニーズは高い。				
5 事務事業の評価					
	□結びついている ■一部結びついている □結びついていない				
ア. 意図する成果に有効に結 ア. びついていますか	本事業の取り組みにより根室産水産物の知名度は一定程度浸透しており、地域経済の活性化に繋 がっている。				
	□可能 □一部可能 ■不可能				
市以外がその事業に取り イ. 組むことは可能ですか (民間、NPO等)	漁協や関係団体で組織していること、また、地域全体に効果をもたらす事業であることから、市が実 施すべきである。				
	□ある ■一部ある □ない				
ウ. 事業内容の中で、見直し ウ. を行う必要はありますか	ロシア水域におけるサケ・マス流し網漁の禁止や近年の海洋環境の変化により、主要となる水産物の水揚減少や、漁獲される水産物に変化が見られるので、状況に応じて既存事業から新規事業へ 転換して事業を行う必要がある。				
	□ある □一部ある ■ない				
単位コストまたは事業費 エ. を工夫できるアイデアは ありますか	現状ではない。				
	□ある ■一部ある □ない				
オ. 他の事業との統合につい て可能性がありますか	統合ではないが、他の事業体で行っているPR販売等との協同の取り組みにより、相乗効果を図っ ている。				
	□ある □検討の必要性がある □ない ■既に負担がある				
受益者に負担をいただく カ. (又は負担を見直す)可 能性はありますか	協議会に加入している団体や個人から会費をいただいている。				
6 事務事業の今後の方向性					
今後の方向性	■現状のまま継続 □見直しのうえで継続 (□拡充 □手段を見直す □効率化 □簡素化 □統合・振替) □終期設定あり (H 年度末終了予定) □休止 □廃止 □完了				